

# 大阪市立大学 国際化2nd アクションプラン

## <アクションプランの見方>

### 1. 組織体制 ←分野

#### (1) 国際化体制の充実 ←重点課題(大項目)

##### ①全学的な国際化体制の推進 ←重点課題の具体内容(中項目)

##### a. 戦略の策定 【国際化戦略本部、国際センター】

↑ 2nd アクションプラン(小項目)

↑ 担当所属

・ 国際化 2nd アクションプランを実行する。(H26-28) ←達成目標年度

↑ 2nd アクションプラン達成のための具体的な取組

# 1. 組織体制

## (1) 国際化体制の充実

### ①全学的な国際化体制の推進

#### a. 戦略の策定 【国際化戦略本部、国際センター】

- ・国際化 2nd アクションプランを実行する。(H26-28)
- ・大学をとりまく状況を常に注視しつつ、必要に応じプラン変更を行う。(H26-28)
- ・国際化 2nd アクションプランの達成状況を検証し、3rd アクションプランを策定する。(H28)

#### b. 国際センターの移転 【国際センター、経営管理課】

- ・国際センターの適切な立地、スペースについて関係所属で協議し、国際センターを移転する。(H26)

### ②国際的視点に立った大学運営

#### a. 職員の英語力強化 【職員課】

- ・事務職員の英語スキルを調査し、「目標とする英語レベル」と「目標レベルを満たす職員割合の目標値」を設定するとともに、英語スキルの取得意欲を高める方策について検討を開始する。(H26)
- ・関係職員を中心に、公募制による外国語研修を試行的に開始し、研修内容を検証する。(H26)
- ・外国語研修の対象者の拡大を図るとともに、検証結果を踏まえ、必要に応じて外国語研修の方法を変更する。(H27-28)

#### b. 関係規程等の見直し 【職員課】

- ・海外出張手続きの簡素化及び海外出張者取扱基準の改正を行うとともに、運用状況について検証する。(H26)
- ・運用状況の検証結果を踏まえ、必要に応じて随時見直しを図る。(H27-H28)

#### c. 雇用関係書類の英語対応 【職員課】

- ・雇用関係書類に英文を併記するための検討を行い、英文を併記した労働契約書を作成する。(H26)
- ・その他の雇用関係書類等についても順次英文の併記を拡大する。(H27-28)

#### d. 海外ゲスト向け各種サービスの充実 【企画総務課、国際センター】

- ・招宴の開催など、海外ゲストに対する各種サービスのあり方について検討する。(H26)
- ・検討結果に基づき、食糧費の執行基準を見直すなど、国際的な視点にたった海外ゲスト対応を

実施する。(H27)

## 2. 教育分野

### (1) グローバル人材の育成

#### ①外国語教育の充実

##### a. 外部試験の実施・活用 【英語教育開発センター】

- ・新入生の TOEFL 受験を必修化し、CE のクラス分けに活用する。(H26)
- ・2 回生以上の TOEFL 受験およびその活用方法について検討する。(H26)
- ・2 回生以上の外部試験の活用方法について方向性を決定する。(H27)

#### ②国際通用性のある教育

##### a. グローバルコミュニケーションコースの副専攻化 【教育推進本部・各学部】

- ・平成 25 年度から開始したグローバルコミュニケーションコースについて検証する。(H26)
- ・検証結果をもとに課題を検討・解決し、副専攻化を図る。(H27)
- ・各学部は意欲のある学生のグローバルコミュニケーションコースの履修を支援する。(H26-28)

##### b. 外国人教員等の比率の拡大 【各部局】

- ・国際公募等により外国人教員の積極的な雇用を行う。(H26-28)
- ・サバティカル制度などを活用し、教員の海外研修を奨励する。(H26-28)
- ・専任外国人教員数 16 人 (H25.10) → 30 人 (H28)
- ・外国人教員等比率 (国外の大学での学位取得、通算 1 年以上教育研究に従事した日本人教員を含む)  
30% (H25) → 35% (H28)

##### c. 英語による授業の拡大 【教育推進本部・各学部研究科】

- ・共通教育、専門教育、大学院教育における英語による授業を導入・拡充する。(H26-28)
- ・各研究科は、英語による授業及び研究指導のみで学位取得が可能なカリキュラムについて検討し、可能なところから導入にむけての準備をすすめる。(H26-28)

##### d. 国際化に対応した柔軟な学事暦の検討 【教育推進本部・大学教育研究センター】

- ・他大学の 4 学期制等の導入事例について調査研究する (H26)
- ・4 学期制等の導入についての方向性を決定する。(H27)

##### e. 教育の「見える化」の推進 【教育推進本部・各学部研究科・大学教育研究センター】

- ・科目ナンバリングの実施について調査研究する。(H26)
- ・全学的に科目ナンバリングを実施する。(H27)
- ・各部局は GPA 制度の実質化を図る。(H26-28)

**f. 競争的資金への申請** **【国際化戦略本部、教育推進本部、国際センター】**

- ・文部科学省「スーパーグローバル大学等事業」に申請する。(H26)

**③グローバル感覚の醸成**

**a. キャンパスの国際化** **【英語教育開発センター、国際センター】**

- ・English Café のあり方について検討し、充実を図る (H26)
- ・グローバルビレッジの設置場所、運営方法等について検討する。(H26)
- ・グローバルビレッジを開設する。(H27)

**b. 海外就業体験の実施** **【国際センター】**

- ・卒業生と連携した上海での企業訪問や就業体験を実施する (H26-28)
- ・語学研修等と組み合わせた海外での企業訪問や就業体験を新たに実施する (H27)

**④海外留学の促進**

**a. 海外留学に対する経済的支援** **【大学サポーター事務局、国際センター、各学部研究科】**

- ・はばたけ夢基金を活用した海外留学に関する奨学金制度について検討し、試行的に実施する。(H26)
- ・試行実施結果を検証のうえ必要に応じた見直しを行い、制度を創設する。(H27)
- ・学生の海外派遣に関する各種競争的資金の獲得に努める。(H26-28)

**b. 海外留学しやすい環境の整備** **【教育推進本部、各学部研究科】**

- ・他大学の事例を参考に、海外研修期間の公欠制度や認定留学制度の導入について検討する。(H26-27)
- ・検討結果をもとに必要な制度改革を行い、学生の海外留学しやすい環境を整備する。(H28)

**c. 交換留学の充実** **【教育推進本部、各学部研究科、国際センター、大学教育研究センター】**

- ・他大学の事例を参考に、単位互換、ダブルディグリー、ジョイントディグリー等の導入に向けての制度設計を開始する。(H26)
- ・学生交換を行っている協定先大学との単位互換、ダブルディグリー、ジョイントディグリーの実施の可能性について検討し、可能なところから導入を図る。(H28)

**d. 海外留学意欲の向上** **【国際センター】**

- ・各国大使館や学生団体と連携して新たに留学フェアを開催し、留学に関する各種情報を提供し、留学意欲の向上を図る。(H26)

## (2) 留学生の受入れ

### ①優秀な留学生の確保

#### a. 留学生計画の実行 【国際化戦略本部・国際センター】

- ・日本政府の外国人留学生受入れ戦略等に対応しつつ、留学生計画を着実に実行・検証し、適宜、必要に応じた見直しを行う。(H26-28)
- ・留学生受入れ教員へのインセンティブの付与について検討する。(H27)

#### b. 留学生フェアへの参加 【国際センター】

- ・日本学生支援機構や日本語学校が開催する各種留学生フェアに参加する。(H26-28)
- ・海外で開催される日本留学フェアについては費用対効果等を検証しつつ、適宜参加する。(H26-28)

#### c. 柔軟な入試対応 【各学部研究科・教育推進本部】

- ・留学生の入学者選抜の多様化について検討し、必要に応じて関係規程等を改正する。(H27)

#### d. 短期留学生の受入れ 【国際センター・各学部研究科】

- ・主として非漢字圏から短期留学生を受入れ、短期日本語研修を実施する。(H26-28)
- ・3か月未満の短期の交換留学生についても積極的に受入れる。(H26-28)

### ②留学生への支援

#### a. 留学生の実態把握 【国際センター】

- ・平成25年度に実施した留学生アンケートを分析・検証し、留学生の実態把握を行う。(H26)
- ・検証結果を各種留学生施策に反映し、留学生の満足度向上に努める。(H27-28)

#### b. 留学生への経済支援 【国際センター】

- ・現行の授業料減免制度や各種奨学金制度の見直しについて検討する。(H26)
- ・検討結果をもとに、各種制度を改正する。(H28)

#### c. 留学生への住宅支援 【国際センター】

- ・外国人留学生のための住宅の確保にむけ、既存の施設の活用や民間住宅の紹介など、様々な方策について検討する。(H26)

#### d. 日本語教育の充実 【教育推進本部】

- ・日本語授業のあり方について検討する。(H26)
- ・検討結果に基づきカリキュラムの変更や必要な教員の確保などを行う。(H27)

- ・非漢字圏の学生向け日本語教育の充実を図る。(H27)

**e. 就職支援の充実** **【就職支援室】**

- ・学内セミナー参加企業のプロフィール項目に留学生採用「実績人数」「積極採用」等欄を新規導入する。(H26)
- ・留学生の求職ニーズと企業の採用ニーズの情報収集に努め、マッチング体制を構築する。(H27)
- ・実績をもとに企業との連携に努め、留学生と企業をつなぐ指導体制の強化を図る。(H28)

**③日本人学生との相互交流**

**a. 学生交流の活発化** **【国際センター】**

- ・学生国際交流会等各種イベントを開催し、グローバルメンバーズ（OGM）の活動を支援するなど日本人学生と留学生の相互交流を促進する。(H26-28)

**④留学生のネットワークづくり**

**a. 卒業生との関係強化** **【国際センター】**

- ・国際交流アドバイザーと連携し、卒業生との関係強化を図る。(H26-28)
- ・ソーシャルネットワーク（SNS）を活用した卒業生とのネットワークづくりの仕組みを整える。(H27)

### 3. 研究分野

#### (1) 国際学術交流の推進

##### ①外国人研究者の受入れ・研究者の海外派遣

###### a. 研究者交流の推進 【国際化戦略本部、国際センター、各部署】

- ・海外からの優秀な研究者の受入れや研究者の海外派遣を拡充するため、積極的に各種情報収集を行い、外部資金の獲得を図る。(H26-28)
- ・若手研究者の海外派遣や国際会議等への出席を支援する仕組みについて検討する。(H26)
- ・外国人研究者の住宅支援施策について検討する。(H26)

##### ②海外の大学との連携

###### a. 学術交流協定の拡充 【各部署、国際センター】

- ・海外の優秀な大学や研究機関との学術交流協定の締結に積極的に取り組む。

大学間交流協定数    19 協定 (H25 末)    →    25 協定 (H28)

###### b. 海外拠点／サテライト活動 【国際センター、各部署】

- ・大阪市と連携し、上海で各種活動に取り組む。(H26-28)
- ・上海での活動内容を検証し、業務の実施方法について関係機関と協議を行い、方向性を決定する。(H27)
- ・新たにタイ・バンコクでの海外拠点活動を開始する。(H26)
- ・ジャカルタへの海外拠点の設置について、調査を開始する。(H27)

###### c. 海外大学のブランチ、リエゾン等の誘致 【国際化戦略本部、国際センター、経営管理課】

- ・海外の協定大学等の日本ブランチ、リエゾン等の誘致の可能性について検討を開始する。(H26)
- ・海外協定大学からの研究者の招へいや、本学教員の協定大学等での教育研究活動の推進など、教員の流動性を高めるための制度の検討を開始する。(H26)

#### (2) 国際的に卓越した研究拠点の形成

##### ①都市科学分野の展開

###### a. 都市研究の国際ネットワークの確立 【都市研究プラザ、各部署】

- ・海外サブセンターを活用した都市研究国際ネットワークを推進する。(H26-28)
- ・頭脳循環を加速する若手研究者戦略的海外派遣プログラムを推進する。(H26)

###### b. 人工光合成研究の推進 【複合先端研究機構、産学官連携推進本部】

- ・革新的イノベーション創出プログラム(COI)のうち採択されたトライアルの取組を推進すると



共に、本格プログラム(COI-STREAM)拠点への申請を行う(H26)

- ・世界的に著名な教員を招聘して研究を活発化し、実用化にむけた企業との共同研究部門を拡充する(H26-27)

c. テニユアトラック制の活用

**【都市研究プラザ、複合先端研究機構】**

- ・「テニユアトラック普及・定着事業」を活用し、国内外からの優秀な若手研究者を育成する。  
(H26)

## 4. 産学官連携・社会貢献

### (1) 国際的なイノベーションの創出

#### ① 海外大学・企業・自治体等との連携

##### a. 海外での研究シーズの発表 【産学官連携推進本部】

- ・中国国際工業博覧会への出展などを通して、海外の企業等への技術移転に取り組む。(H26-28)

#### ② 環境、エネルギー、安心・安全等課題へのモデル提示

##### a. 人工光合成による新エネルギー創出 【産学官連携推進本部、複合先端研究機構】

- ・＜再＞革新的イノベーション創出プログラム(COI)のうち採択されたトライアルの取組を推進すると共に、本格プログラム(COI-STREAM)拠点への申請を行う(H26)
- ・＜再＞世界的に著名な教員を招聘して研究を活発化し、実用化にむけた企業との共同研究部門を拡充する(H26-28)

##### b. 健康科学イノベーションセンターの取組推進 【健康科学イノベーションセンター】

- ・健康科学に係るイノベーション創出に取り組む。(H26-28)

##### c. 欧州スマートコミュニティ実証事業の国際展開 【工学研究科】

- ・欧州スマートコミュニティとコペンハーゲン・クリーンテック・クラスターとの技術提携によるデンマークの企業や大学との産学学連携の可能性について検討する。(H26-28)

### (2) 地域社会への貢献

#### ① 地域の国際化支援

##### a. 行政・地域団体・市民・企業等との連携 【地域貢献推進本部・国際センター】

- ・大阪市の実施する「OSAKA 留学生ネット」や、堺市の実施する留学生交流事業等に協力する。(H26-28)
- ・地域の小学校が実施する特色ある教育カリキュラム、国際理解教育「多文化共生授業」等に留学生が協力するなど、大阪市立大学がもつ国際的資源と地域ニーズをマッチングし、地域の国際化・活性化に寄与する (H26-28)

## 5. その他

### (1) 国際的なブランド力の強化

#### ①海外への情報発信

##### a. 各種広報媒体による情報発信 【大学広報室、国際センター】

- ・ソーシャルネットワーク（SNS）を活用した情報発信を開始する。（H26）
- ・新たな広報用DVDを制作し、動画による情報発信を強化する。（H26）
- ・大学ホームページのコンテンツを充実し、最新の情報を随時発信する。（H26-28）

##### b. 大学ランキングへの対応 【企画総務課、大学広報室】

- ・国際的な評価の基準とされる各種大学ランキングに対応し、結果を広く公表する。（H26-28）